

《 手術室看護 》

指標の説明

周術期における術前訪問は、患者個別情報をもとに問題点を抽出してアセスメントし、患者の心理状態や訴えを聞くことにより、不安の緩和を図ることが出来ます。また、術後訪問は術前・術中の看護を評価し、今後の看護に生かすことに繋がります。

当院では、手術を担当する受け持ち看護師が術前・術後訪問を実施し患者さんとの信頼関係を築き患者さんが安心して手術に臨めるよう取り組んでいます。

1. 術前・術後訪問実施率(対象者に対して術前術後訪問を実施した割合)
2. 受け持ち看護師による術前術後訪問率(受け持ち看護師が術前術後訪問を実施した割合)

★術前訪問対象者: 心臓外科(開心術)脳外科(開頭術)呼吸器外科(肺切除)乳腺外科(乳房切除術)婦人科(開腹術)消化器外科(開腹術+硬膜外麻酔併用術)整形外科(腰椎・脊椎手術)

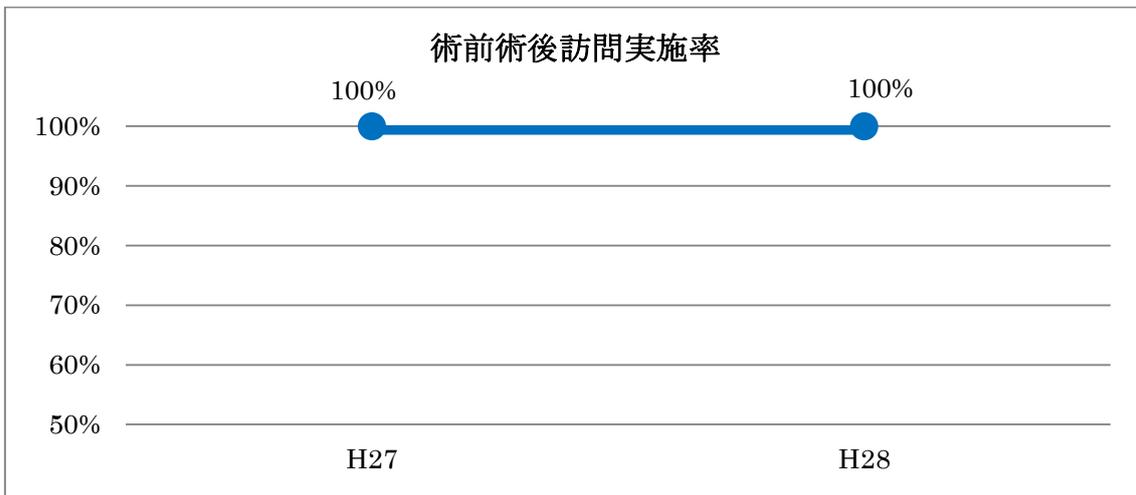
★受け持ち看護師による術前術後訪問: 術前・術後のいずれかあるいはどちらも訪問したものを指す。

●術前・術後訪問率

指標の定義

1. 術前・術後訪問実施率

＝術前訪問実施件数＋術後訪問実施件数/(術前訪問対象者数×2)×100



●術前・術後訪問率

指標の定義

1. 受け持ち看護師による術前術後訪問率

＝受け持ち看護師による術前訪問件数＋術後訪問件数/術前術後訪問総件数×100

